

第4 2回大分県教職員ソフトボール大会実施要綱

- | | | | |
|---------|--|----------------------|--------|
| 1. 趣 旨 | ソフトボールを通じて、教育関係職員相互の親睦と融和を深めるとともに、健康的な職場づくりの推進に資する。 | | |
| 2. 主 催 | 大分県教育委員会・一般財団法人大分県教職員互助会 | | |
| 3. 大会役員 | 会 長 | 大分県教育委員会 教育長 | 山田 雅文 |
| | 副 会 長 | 大分県教育庁 福利課長 | 佐藤 潔 |
| | 〃 | 一般財団法人大分県教職員互助会 常務理事 | 中島 成人 |
| | 〃 | 一般財団法人大分県教職員互助会 常務理事 | 首藤 哲治郎 |
| | 実行委員長 | 一般財団法人大分県教職員互助会 事務局長 | 小野 武 |
| 4. 実行委員 | 実行委員長は会長の指示に従い、福利課及び互助会の職員の中から必要に応じて実行委員を定め、大会実行委員会を組織する。実行委員会事務局は互助会内に置く。 | | |
| 5. 日時場所 | 2 0 2 5 (令和 7) 年 1 1 月 3 日 (月・祝日) ※小雨決行
午前 8 時 3 0 分開会 (受付 午前 7 時 3 0 分～8 時 2 0 分)
午前 8 時 4 5 分試合開始
大分市内 7 会場 (11. 会場の項参照)
※申込チーム数により変更になる可能性があります。 | | |
| 6. 参加資格 | 大分県教職員互助会会員
①正規職員・②臨時的任用職員・③退職会員
※①②③は互助会に加入していること。
※上記互助会員が所属する所属所等に勤務している、④会計年度任用職員
(非常勤講師・非常勤職員等。注) についても参加可とする。
注：④は公立学校共済組合短期給付の対象となる者。大分県公立学校教職員
及び教育関係職員
※市費雇用職員や P T A 等団体雇用職員等は、参加できません。 | | |
| 7. 申込方法 | (1) 別途通知(互助会報おおいた 2 0 2 5 年 9 月号)するところにより、
実行委員会事務局(互助会事務局)に申し込みすること。
(2) 参加チームは A 級 4 チーム、B 級・C 級合わせて 5 6 チーム程度とし、
申込み数が多く、大会運営に支障を来すと判断した場合、実行委員会で
抽選することもある。 | | |

8. チーム編成 (1) 上記6の参加資格を満たす教育関係職員等による自由チーム制とし、下記のとおり募集する。

※①正規職員・②臨時的任用職員の合計人数が、チーム編成人数の半数以上となること。

例：チーム編成人数が16人の場合、①②の合計が8人以上となること。

A級 ウィンドミル投法可

投球距離は14.02m（投手が大会当日60歳以上又は女性は13.11m）とする。

ヘルメット着用を義務づける（各チームで準備）

盗塁有り

コールドゲームはオフィシャルルールどおりとする。

補助金3万円

B級 ウィンドミル投法可

投球距離は14.02m（投手が大会当日60歳以上は13.11m、女性は12.19m）とする。

ヘルメット着用を義務づける（互助会で準備）

盗塁無し・振り逃げなし

補助金2万円

C級 スローピッチ投法のみ

（投球距離は男女ともに14.02mとする）

投球は地面から1.5m以上3m以下の高さでアーチを描くように投げなければならない。

ピッチャーは危険防止のため、ソフトボール又は野球の経験者が望ましい。

ヘルメット着用無し

盗塁・振り逃げなし・バントなし

補助金2万円

(2) 複数の所属所職員によるチーム編成も可能とする。

(3) 1チームは20名以内とし、監督1名、主将1名を置くこと。

(4) 同一選手が複数のチームに重複して選手登録することは禁止する。

(5) A級参加チームが2チーム以下の場合にはA級とB級を統合する。

9. 競技規則 令和7年度日本ソフトボール協会競技規則に準拠する。

ただし次の特別規則を採用する。

①試合球は検定ゴム3号球とする。

②バットは検定3号バットとする。

③捕手は必ずキャッチャーマスクを着用すること。

④金属製スパイクの使用は禁止する。

⑤ユニフォームは自由とするが、必ず背番号着用のこと。

⑥背番号は、1～99番とする。なお、監督は30番、主将は10番を原則とする。監督・主将が指定と異なる背番号を着用する場合は申込書に明記し、

審判と対戦チームに通告すること。

10. 競技方法
- (1) A級・B級・C級は申込時の自己申告に基づく。
 - (2) 7イニング制とするが、時間制限により7イニングより前に打ち切ることもある。
 - (3) 延長戦は行わず、同点の場合は抽選で勝敗を決する。
 - (4) 上記(2)(3)、その他詳細については監督会議で提案する。
11. 会 場
- 大分市内 中学校・高等学校等 6会場
- A級(1会場) 大分市植田西中学校
- B・C級(6会場) 大分南高等学校・大分東高等学校・大分鶴崎工業高等学校
大分市大東中学校・大分市城東中学校・大分市田尻小学校
- ※会場ごとにA、Bパートを設ける。
12. 審 判 員
- (1) 球審は大分県ソフトボール協会に委嘱する。
 - (2) 塁審(3名)点示員(1名)は参加チームが担当する。
 - (3) 塁審、点示員は、前試合の敗戦チームが担当する。各会場第1試合については、対戦表のとおりとする。
13. 組 合 せ
- 監督会議時に抽選で決定する。
14. 表 彰
- A級は優勝チーム。B級・C級は会場毎のパート優勝チーム。
15. 監督会議
- 令和7年10月25日(土)午前10時より、大分県教育会館の201会議室で実施するので、各チームの代表(監督または主将)1名は必ず出席すること。欠席の場合は棄権とみなすことがある。代理出席は可とする。
16. そ の 他
- (1) 開会式には、各チーム2名以上参加すること。
 - (2) 試合開始時刻15分を過ぎても選手の揃わないチームは、失格とする。
 - (3) ゴミは各自で必ず持ち帰ること。学校のごみ箱等の使用は厳禁。
 - (4) 会場(学校敷地内)は全面禁煙であるので、厳守すること。
 - (5) 交通費は各自負担とする。

競技規則

令和 7 年度日本ソフトボール協会競技規則に準拠する。

ただし次の特別規則を採用する。

- ① 試合球は検定ゴム 3 号球（互助会で準備する）。
- ② バットは検定 3 号バット（各チームで準備する）。
- ③ ヘルメット着用の有無は、実施要項 8－（１）のとおりとする。
- ④ 盗塁の有無は、実施要項 8－（１）のとおりとする。
- ⑤ 再出場（リエントリー）制、D P 制を採用する。

競技方法

- ① トーナメント方式で 7 イニング制とするが、時間制限により 7 イニング以前に打ち切ることもある。B 級・C 級はコールドゲームはなしとする。
- ② 上記①の時間制限の場合、最終回・試合終了の判断は球審が行う。
- ③ 試合終了時に同点の場合、延長戦は行わず、抽選で勝敗を決定する。
- ④ 上記①の時間制限、及び上記③の抽選の詳細については監督会議で提案する。
- ⑤ 試合開始時刻を 1 5 分過ぎても、選手の揃わないチームは失格とする。

確認事項

- ① 投球距離は、実施要項 8－（１）のとおりとする。
- ② 捕手は必ずキャッチャーマスクを着用する。（各チームで準備）
- ③ 金属製スパイクの使用は禁止する。
- ④ ユニフォームは自由とするが、必ず背番号をつけること。（安全ピン不可）
- ⑤ 背番号は、監督 30 番、主将 10 番、その他の選手は 1～99 番とする。監督・主将が指定と異なる背番号を着用する場合はオーダー表に明記し、審判と対戦チームに通告すること。
- ⑥ 登録選手の変更は、各会場本部に届け出があった場合に認める。ただし、届け出は各チームの最初の試合開始前とし、以後は認めない。
- ⑦ オーダー表は、試合ごと、試合開始までに各会場本部に提出すること。登録選手以外の出場は認めない。
- ⑧ ケガ等が発生した場合は、各チームの責任者が各会場本部に届け出ること。